

MRDC

溶湯性状の測定装置

**mDI-300** series

---

# mDI-300 Concept

良いアルミニウム鋳物をつくるには、良い溶湯をつくる必要があります。  
mDI-300シリーズは溶湯性状を判断し、鋳造不良を低減させます。

## mDI-300シリーズ

ご利用の用途に合わせて多彩なシステムをラインナップしております。

	m-200	DI-200	mDI-300
m	✓		✓
DI		✓	✓
$\rho/P$			✓

### m値

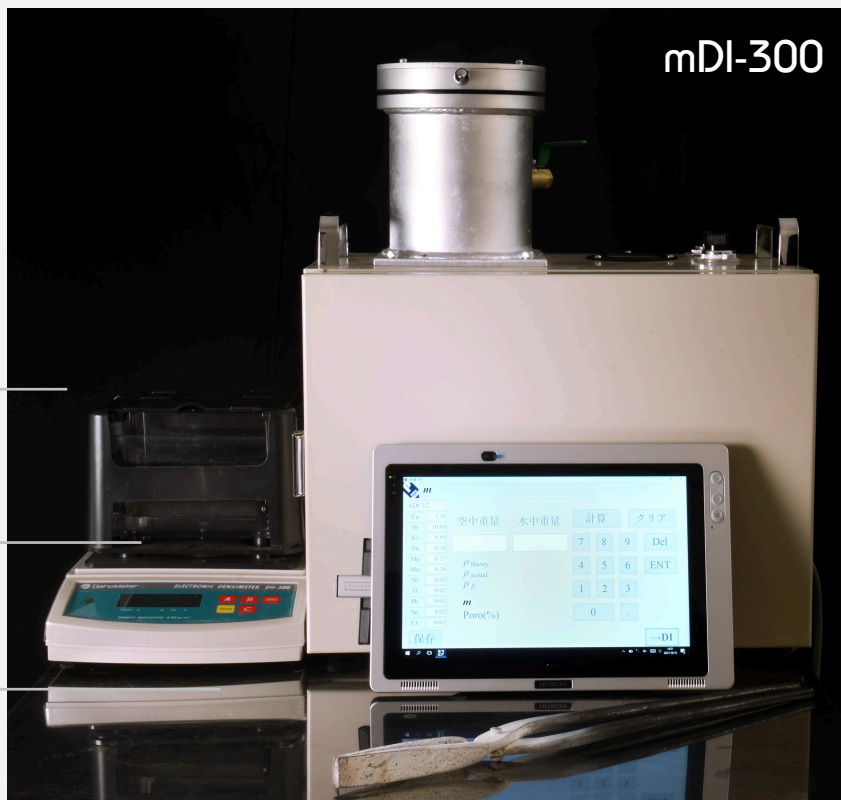
押湯が効きやすい部分の健全度を  
0(悪)~1(良)の値で示します。

### DI値

押湯がほとんど効かない部分の健全度を、  
見かけの気孔率(%)で示します。

### $\rho/P$

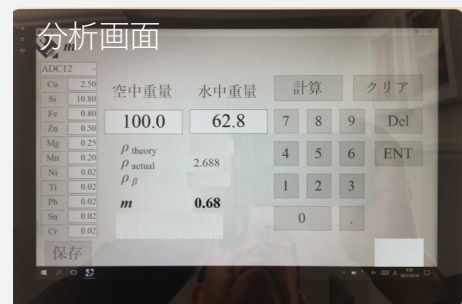
健全度の圧力依存性を示します。  
この値が小さいほど、押湯が効きにくい部分でも  
健全度を保ちやすいことを示します。



## 対象合金

あらかじめ、ADC12, AC4CH, AC2B, Sf-36の各合金の化学成分が  
登録されています。

また、それら以外の合金を登録することも可能です。



## ご使用例 AC2B合金

AC2B 合金インゴットだけの溶湯( $m=0.65$ )に対して、切粉を添加  
すると悪くなっています( $m=0.51$ )。さらに、De-Oフラックス処理を  
行うとより良くなること( $m=0.80$ )がわかります。

インゴット溶解時	$m=0.65$
切粉添加後	$m=0.51$
フラックス後	$m=0.80$



開発・販売

株式会社 MRDC  
437-0215 静岡県周智郡森町森845番地の4  
www.MRDC.jp  
080 1596 7334 (森中)